中学２年生　音楽

ベートーヴェン・レポート

第２章の選択（　　）

教科の目標

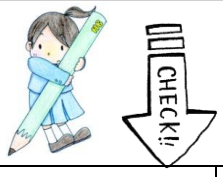
1. ベートーヴェンについて調べ、その生涯や作品を知る。
2.自分のテーマを持ち、それについて探究する。
3.「レポート」という形式を学ぶ。

図書館の目標

1.資料の中から必要な情報をきちんと取り出すことができる。
2.事実と意見を区別して書く。
3.参考資料のデータ（書名、著者名等）を記録する習慣をつける。

あなたの「問い？」を「わかった！」にするためのプロセス

Step1 課題を明確にする → Step2 情報を集める → Step3 情報を選別する → Step4 情報をまとめる → Step5 発表する。 → Step6 ふりかえる。



ノート提出	第１章下調べ（p.8～11）	第２章　AorB	ワークブック提出

中学２年＿＿組　＿＿＿＿番　名前　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京純心女子中学校音楽科+東京純心女子中学校図書館・作成

学習を始める前に、まず確認　　記入日　　月　　日（　　）

あなたがこれから行う学習に対して、以下のことを確認しましょう。今後、レポート作成を進めるにあたって、必要事項を忘れた時は、このページを見て確認してください。

① 野島先生（島田先生）から与えられたテーマは、**「ベートーヴェン」**です。

②今回の課題の目標を再確認します。（表紙「教科の目標」と同じ）

1. ベートーヴェンについて調べ、その生涯や作品を知る。
2. 自分のテーマを持ち、それについて探究する。
3. 「レポート」という形式を学ぶ。

② レポートの分量（「表紙+目次+序論＋本論＋結論+参考文献リスト」の枚数）

市販の B5 判(B 罫)のレポート用紙　　枚以上　　枚以下

（内、第１章は３枚以内とする。）

④図書館での授業は（　　）回です。

それぞれの時間の学習内容は、以下の通りです。

	日　時	この時間の学習内容
1時間目	月　日(　　) (　　)校時	前半：学習を始める前の確認、レポートとは何かの説明 後半：ベートーヴェンに関する情報（事実）を集める（1）
2時間目	月　日(　) (　　)校時	ベートーヴェンに関する情報（事実）を集める（2）
3時間目	月　日(　　) (　　)校時	・第2章のやり方を説明。 ・第2章の選択　（A：鑑賞文　B：独自のトピック） Aを選んだ方：　①選曲して島田先生にOKをもらう。 ②鑑賞文作成に入る。 Bを選んだ方：　①独自のトピックを決め、それを疑問形にする。 →島田先生にOKをもらう。 ②その理由を導き出せる情報（事実）を集める。
4時間目	月　日(　) (　　)校時	・序論（はじめに）、結論（おわりに）の書き方を説明。 ・レポートの下書きに着手する。
5時間目	月　日(　) (　　)校時	レポートの下書き、もしくは清書を行う。

注意：レポートは、授業時間だけでは**到底終わりません。各自で計画的に進めてください。**

⑤レポートの提出期限日を記しましょう。（厳守です！）

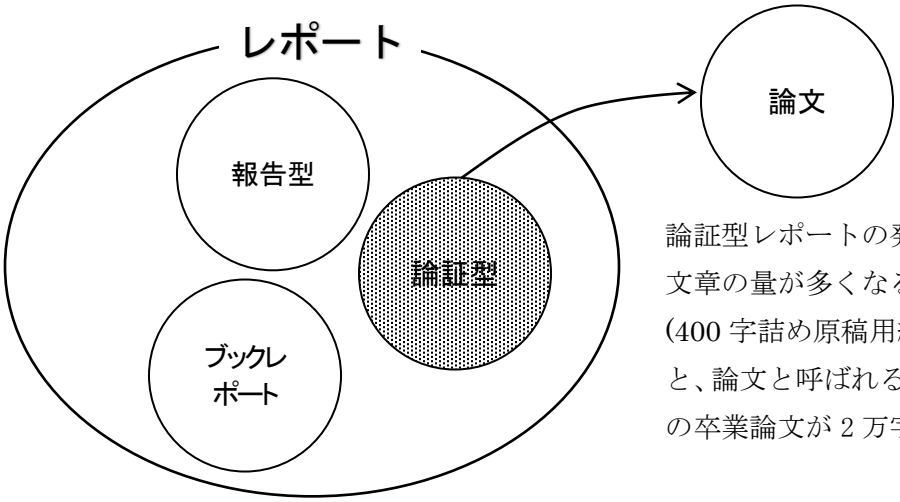
年　　月　　日（　　曜日）　午後　　時

レポートのさまざまなタイプ

ひとくちに「レポート」と言っていますが、実はさまざまなタイプがあります。明確な決まりはありませんが、大まかに３つに分けられます。

レポート	報告型	与えられたテーマに焦点をあてて、参考資料を調べて整理して、報告するもの。感想を求められる場合が多い。
	論証型	テーマに関する問い（疑問点）、自分の意見・主張（結論）、根拠（事実やデータに裏付けられた理由）が揃っているもの。
	ブックレポート	読むべき本が指定され、内容を要約して感想を記すもの。

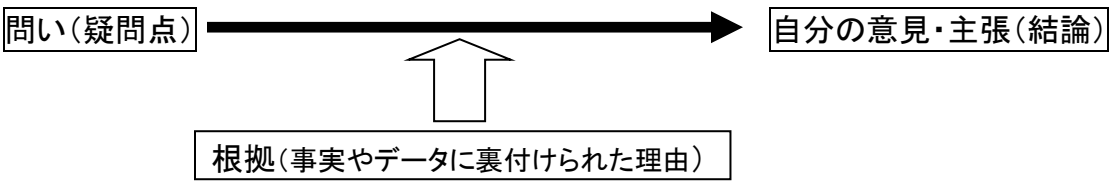
（おまけ）大学入試で課される小論文は、正確には「意見文」です。論文ではありません。



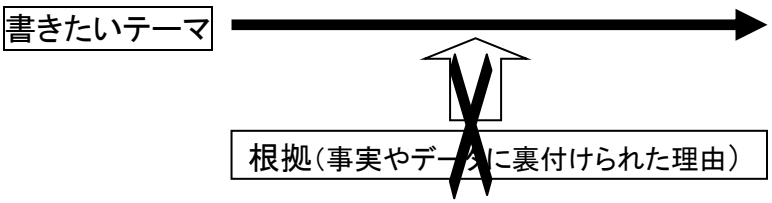
論証型レポートの発展系が「論文」。文章の量が多くなる。目安は、2 万字(400 字詰め原稿用紙 50 枚)を超えると、論文と呼ばれることが多い。大学の卒業論文が 2 万字くらいである。

今回のベートーヴェン・レポートは、報告型と論証型の混合タイプです！

≪レポート（論証型）に必要な3要素≫



≪レポート（論証型）と作文の違い≫ *感想文、意見文、日記・エッセイ・ブログなどは作文です。



ベートーヴェン・レポートの章立て

【レポートの基本形式】

①表紙

表紙には「タイトル」「クラス」「番号」「自分の名前」を書く。
特に今回は、タイトルの下に、第２章の見出しを書いてください。

ベートーヴェン・レポート
ーA:「〇〇」を鑑賞してー
ーB:トピックのタイトルー

クラス、番号
名前

②目次

目次は、レポートを書き終えた後でないと書けない。

目　次
はじめに・・・・・・・・・・・p. 1
第１章　ベートーヴェンの生涯と作品p. 2
　第１節・・・・・・・・・・p. 2
　第２節・・・・・・・・・・p. 3
第２章・・・・・・・・・・・・・p. 6

③序論
（はじめに）

はじめに　⇒**p18へ**

④本論

第１章　ベートーヴェンの生涯と作品
　第１節
　第２節
　⋮

第１章は、レポート用紙３枚以内とする

第２章　（AかB、自分がやりたい方を選んでください。）

A:交響曲より、第3番「英雄」、第6番「田園」、第9番「合唱」、
三大ピアノソナタより、第 8 番「悲愴」、第 14 番「月光」、第 23 番「熱情」
の 6 曲から 1 曲を選び、鑑賞文を書く。　⇒**p12～14 へ**

B:独自のトピック　⇒**p15～17 へ**

⑤結論
（おわりに）

おわりに　⇒**p18へ**

「序論（はじめに）」で書いたことの自分なりの答えを「結論（おわりに）」として書くこと。一貫性を保つこと。

⑥参考文献
リスト

参考文献リスト　⇒**p19へ**

「参考文献」とは、自分の考えをまとめるために参考にした本、新聞、雑誌、Web サイトのこと。

「調べる」に当たっての基礎知識

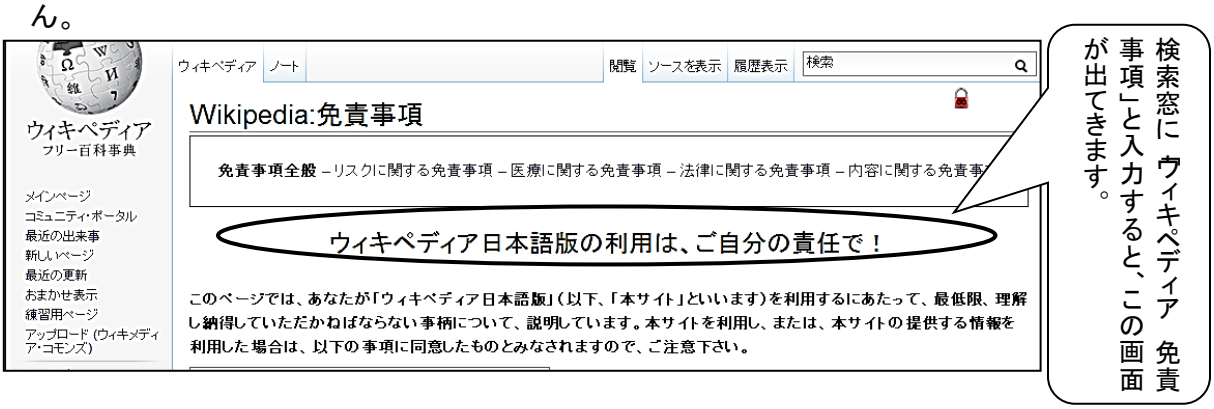
１. 参考文献は（　　）つ以上使うこと　―参考文献はなぜ必要か？―

参考文献が１冊もないというのは、その報告書は自分の頭で考えた事だけを書いたことになります。そんなことはあり得ません。また、参考文献が１冊だけというのは、一人の意見を鵜呑みにして書いたことになり、報告書の信頼性が低くなります。ですから（　　）つ以上の意見を集めて、自分なりに考えた結果を自分の言葉でまとめます。

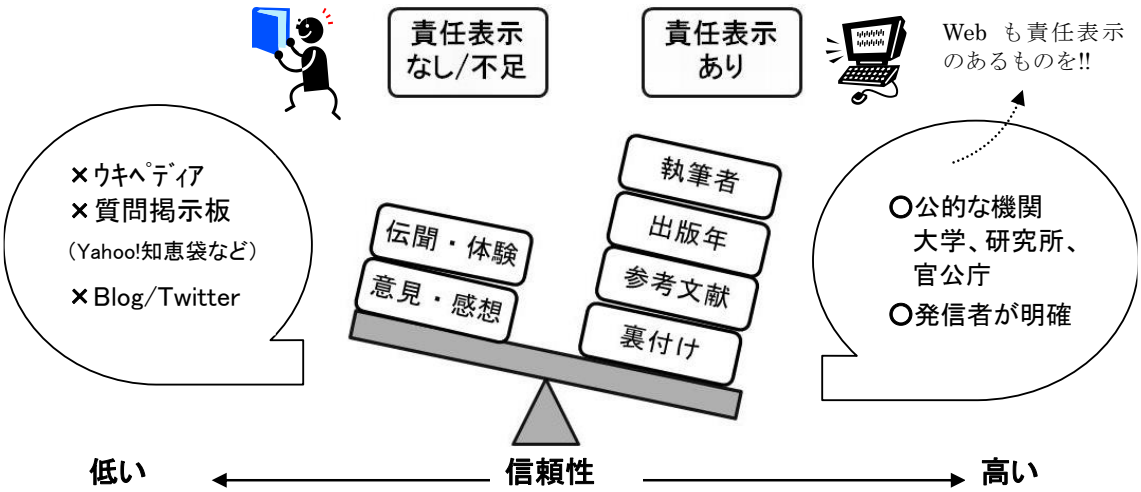
２. 参考文献は、（　　）の高い、（　　）な資料を選ぶこと

本の最後のページ(これを「奥付」という)を見ると、一冊の本にたくさんの人が関っていることがわかります。特に、著者や訳者として名前を出している人たちは、「本の中身について私たちが責任をとります」と言っていることになります。これを**「責任表示」**と言います。本の信頼性は、この責任表示によって保証されています。

★皆さんがよく利用する Web サイトに「ウィキペディア」があります。これは、その事柄の専門家が書き込める一方で、全くの素人も書き込めます。情報の信頼性の保証は、使う人の判断に任されているのです。「ウィキペディア」は、参考資料リストには書けません。



調べた情報の真偽は、誰がまたは何によって、保証されているの？



Web サイトを使ってはダメなのではありません。
信頼性を高めるために、他の資料で補強してください。

３. 著作権を守る

「著作権」とは、文章・写真・絵画・映像・音楽などを作った人（著作権者）が自分の作品を人に勝手に使われない権利のことです。本やインターネットでみつけたイラストや文章にも著作権があります。**作者に無断でコピーしたり、文章を丸写ししたりしてはいけません。著作権侵害となります。**

４. 調べて得た情報を自分のものにするために―「引用」「要約」「書き換え」－

調べて得た情報を自分のものにするために、「引用」や「要約」をしましょう。さらに、「要約」を「書き換え」ると、調べて得た情報を理解できているか、いないかの確認ができます。書かれた事柄を丸写しばかりしていると、何が書かれているのか理解できなくなります。調べて得た情報は、自分の言葉にしましょう。

◆「引用」とは、他人の文章をそっくりそのまま借りること。

◆「要約」とは、他人の文章の中から自分にとって必要な部分を短くまとめること。
さらに、自分にわかる文章に書き換えること。

島に住んでいる動物と大陸に住んでいる動物とでは、サイズに違いが見られる。典型的なものはゾウで、島で隔離されたゾウは、世代を重ねるうちに、どんどん小形化していった。島というところは、大陸に比べ食物量も少ないし、そもそもの面積も狭いのだから、動物の方もそれに合わせてミニサイズになっていくのは、なんとなく分かる気がするが、話はそう簡単ではない。ネズミやウサギのようなサイズの小さいものを見ていると、これらは逆に、島では大きくなっていく。

島に隔離されると、サイズの大きい動物は小さくなり、サイズの小さい動物は大きくなる。これが古生物学で「島の規則」と呼ばれているものだ。

（出典：本川達雄『ゾウの時間　ネズミの時間』中央公論社　1992 年）

⇒これを引用すると（一例）

私は同種の動物の場合、生息地が大陸であろうと島であろうと、その大きさに違いがあるとは思ってもみなかった。ところが、本川達雄氏によると「島に隔離されると、サイズの大きい動物は小さくなり、サイズの小さい動物は大きくなる」（本川達雄著『ゾウの時間　ネズミの時間』中央公論社 1992 年、17 頁より引用）という。これは、「島の規則」と言われているそうだ。

引用する文章には「　」をつける　　引用した資料を明らかにする　（引用文作成：遊佐）

⇒これを要約し、書き換えると（一例）

島という隔離された環境に住むようになった動物は、その大きさに大陸とは異なる変化がみられる。ゾウのような大きい動物は小さくなり、ネズミやウサギのような小さい動物は大きくなるのだ。地質時代の生物を研究する古生物学では「島の規則」と言われている。　（文責：遊佐）

横書きレポート用紙の使い方＆書く時の注意点

段落の最初は
1マス下げる。

文章の結びは「～である。」「～だ。」など、常体で書くこと。

はじめに

▶私がベートーヴェンのことを調べようと思ったのは、社会科の授業でヨーロッパのことを知ったからだ。中でもウィーンという町は、有名な作曲家がたくさん活躍している。ベートーヴェンもその中の一人だ。

◀何故、ベートーヴェンはウィーンに行きたがったのだろうか。彼の生涯や作品を通して、その理由を調べていきたい。

行の最初に句読点や中黒、括弧の終わりを書かない。
行の最後に括弧の始まりを書かない。

章の見出し

節の見出し

そろえる

節と節の間は
1行
あける

第1章　ベートーヴェンの生涯と作品

　第1節　幼少時代

□1770年、父ﾖﾊﾝ･ｳﾞｧﾝ･ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝと母ﾏﾘｱ･ﾏｸﾞﾀﾞﾚｰﾅの第2子として、ドイツのボンに生まれ、12月17日に洗礼を受ける。

□　ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝの父親であるﾖﾊﾝ･ｳﾞｧﾝ･ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝは、酒飲みでボンの宮廷付きのテノール歌手をやっていながら伸びなかった。母親のﾏﾘｱ･ﾏｸﾞﾀﾞﾚｰﾅは、選帝侯の料理人の娘として生まれ・・・・・(略)

　第2節　ウィーン留学

□1787年、ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝが16歳の時にﾓｰﾂｧﾙﾄに師事するためｳｨｰﾝに旅立つ。しかし、母親が危篤によりﾎﾞﾝに戻る。1792年、21歳の時に再びｳｨｰﾝに留学し、ﾊｲﾄﾞﾝに作曲を師事する。同時に・・・・・(略)

- 文章の結びを常体で書く理由は、文章に説得力を持たせるためです。
- 「章」がとても長くなる場合、内容を分けるために「節」を使います。
- 分量が少ない場合は、段落を分けてください。

図･表、写真を
入れる場合

図･表･写真

【図1】ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝの肖像画

青木やよひ編著『図説ベートーヴェン』(河出書房新社)より

【図-番号】「図の説明」、××著『○○○○』(▽△社)

※引用した資料名を明記する。

ベートーヴェンの資料を読み、メモをとる

●まず1冊めの基本資料として、『伝記世界の作曲家④ベートーベン』や『楽聖ベートーヴェン』あたりから選ぶ。丁寧に読んで、「第１章ベートーヴェンの生涯と作品」を仕上げるのに必要だと思う情報（事実）をメモする。メモは、自分の手もとに情報を残すための方法である。

≪メモのとり方≫
丸写しはせず、箇条書きや要約をしよう。どうしても他人の意見を（本に書いてある通りに）そのまま写したい時（引用）は、「　」でくくる。

参考文献は、２冊以上使うこと！

1770 年（0 歳）～1792 年（22 歳）　少年期	
生涯	作品
（参考文献：『　』）	（参考文献：『　』）

●誕生から 22 歳までの 22 年間で、気になったこと(参考文献：『　』)

メモが足りない時は、自分で足してください。

1793 年(23 歳)～1802 年(32 歳)　充実期	
生涯	作品
(参考文献:『　　』)	(参考文献:『　　』)

●23 歳から 32 歳までの 10 年間で、気になったこと(参考文献:『　　』)

メモが足りない時は、自分で足してください。

1803 年（33 歳）～1812 年（42 歳） 絶頂期

生涯	作品
（参考文献：『　　』）	（参考文献：『　　』）

●33 歳から 42 歳までの 10 年間で、気になったこと(参考文献：『　　』)

メモが足りない時は、自分で足してください。

1813 年（43 歳）～1827 年3月26日（56 歳） 晩年	
生涯	作品
（参考文献：『　　』）	（参考文献：『　　』）

●43 歳から 56 歳までの 13 年間で、気になったこと(参考文献：『　　』)

メモが足りない時は、自分で足してください。

第2章【A を選んだ方】 A

鑑賞文を書く

音楽も美術と同じように、「感性だけで聴いてはいけない」と言われています。楽曲にはメッセージが込められていますので、その時代の社会背景、その作曲家の宗教観や思想についての知識がなければ、その意図までを理解することはできません。しかし、みなさんはまだ中学２年生であり、ヨーロッパ史を勉強していません。

そこで、この第２章は、ベートーヴェンがその曲を作曲した頃どのような状況に置かれていたかに着目していただきたいと考えました。（音楽科/碓氷先生＆野島先生より）

【手順】　※納得がいくまで何回でも聴いてください。

①交響曲より第３番「英雄」、第６番「田園」、第９番「合唱」、ピアノ・ソナタより第８番「悲愴」、第 14 番「月光」、第 23 番「熱情」の中から１曲を選ぶ。
②実際に曲を聴き、調べる前の鑑賞文を書く。
③その曲を作曲した頃のベートーヴェンを詳しく知る。
④もう一度**全楽章を聴き**、調べた後の鑑賞文を書く。
⑤鑑賞を終えての感想（まとめ）を書く。

「鑑賞を終えて」の感想を書く時の心構え
（そうか！）ベートーヴェンは〇〇という状況に置かれていたから、このような曲を作って･･････(略)･････････。私には～～～と訴えているように、聴こえた。

≪選んだ曲名≫

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第２章の章立ては、以下のとおりです。

第２章　（　　選んだ曲名　　）を鑑賞して
　第１節　鑑賞文
　　①調べる前に聴いた鑑賞文
　　②「(曲名)」を作曲した頃のベートーヴェン
　　③調べた後に聴いた鑑賞文
　第２節　鑑賞を終えて

≪ひと言≫

選択曲を作った当時のベートーヴェンの様子がズバリと書かれた資料が必ず見つかるとは限りません。見つからない場合も多いでしょう。でも、その作品を作ったころのベートーヴェンのことは、年譜や伝記に書かれた情報（事実）を基にして想像することはできます。それを、まとめてください。

情報を集める

A

曲を聴いての感想や調べたことをどんどんメモしましょう。

≪メモのとり方≫
丸写しはせず、箇条書きや要約をしよう。どうしても他人の意見を（本に書いてある通りに）そのまま写したい時（引用）は、「　」でくくる。

忘れるな！
参考文献は必ず
p19 にメモしよう。

メモが足りない時は、自分で足してください

情報をまとめる（情報を整理する）

A

集めた情報（事実）を整理して、「その頃のベートーヴェン」をまとめよう！

第１節②　集めた事実から考えられる「その頃のベートーヴェン」

※事実を最低 2 つは見つけましょう。

事実①	
事実②	
事実③	

事実を探すために使った資料≪参考文献≫			
著者名/HP 制作者	書名/HP のタイトル	出版社(発行所)/URL	出版年／ｱｸｾｽ日
			1

第２節　鑑賞を終えて（下書き）

→ｐ12 の「感想を書く時の心構え」を再確認しよう！

第2章【B を選んだ方】

B

独自のトピックをつくる

①8p～11p にメモした「気になったこと（事実）」から１つ選ぶ。

結果

②　①を疑問文（・・・・・？）に言い換える。

【例】なぜ、ベートーヴェンは〇〇なのか？　／　▽△なのは本当か？

第２章の見出し（タイトル）になりま

③どうしてそのようなこと（結果）になったのか、理由を考えてください。

【手順】

（1）理由を導ける事実を集めます。

（2）集めた事実から導ける（考えられる）理由を、あなたの意見としてまとめてください。

これで、第２章は出来上がりです。

【章立ての例ー2010 年度 M さん】

第２章　ベートーヴェンは音楽が好きだったのか
　第１節　積極的に音楽を学ぶ
　第２節　音楽が彼を救う
　第３節　音楽は表現方法

●選んだトピックの理由を導けそうな事実をメモする。

≪メモのとり方≫
丸写しはせず、箇条書きや要約をしよう。どうしても他人の意見を（本に書いてある通りに）そのまま写したい時（引用）は、「　」でくくる。

忘れるな！
参考文献は必ず p19 にメモしよう。

メモが足りない時は、自分で足してください。

B

集めた情報（事実）を整理して、理由を考える

＊「理由を支える事実」を最低２つは見つけましょう。

考えられる理由

裏付け：理由を支える事実		
事実①	事実②	事実③

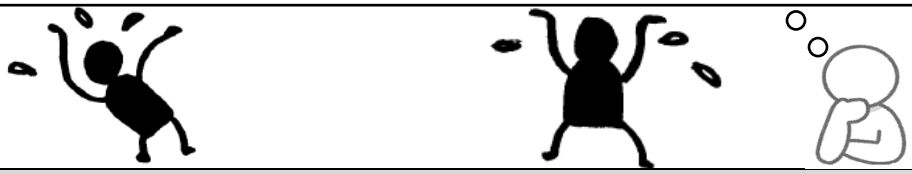
事実を探すために使った資料≪参考文献≫			
著者名/HP 制作者	書名/HP のタイトル	出版社(発行所)/URL	出版年／ｱｸｾｽ日
			1

【例】集めた情報（事実）を整理して、理由を考える　B

独自のトピック（疑問） ベートーヴェンの肖像画は、なぜ怖い顔が多いのだろう？

私の意見 ベートーヴェンはたくさんの不運に見舞われ苦労したので、笑顔でいられる心持ちではなかったのだと考えられる。だから、彼の肖像画は怖い顔が多いのだろう。

事実から考えられる理由 私は、ベートーヴェンに起こった４つの事実をみつけた。この４つは不運としか言いようがない。これらの不運が、彼から笑顔を奪ったのではないだろうか。



裏付け：理由を支える事実やデータ(数値)			
事実①	事実②	事実③	事実④
17 歳の時、母が死亡し、父が失意により働かなくなった。そのために、生計を担うことになる。	22 歳の時、父が死亡。二人の弟の親代わりもつとめることになる。	唯一の家族である甥のカールが自殺未遂事件をおこす。	20 代半ばから難聴という健康上の不安を抱えていた。その後、聴覚は完全に失われた。

事実やデータを探すために使った資料≪参考文献≫

著者名/HP 制作者	書名/HP のタイトル	出版社(発行所)/URL	出版年／ｱｸｾｽ日
さいとうみのる	楽聖ベートーヴェン	汐文社	2005 年
パム・ブラウン	ベートーベン（伝記世界の作曲家④）	偕成社	1998 年
ギュンター・ホイマン	作曲家と出会う　ベートーヴェン	リットーミュージック	2001 年
国立音楽大学音楽研究所	肖像と彫像にみるベートーヴェン	http://www.ri.kunitachi.ac.jp/ lvb/por/por.html	2019 年 9 月 26 日

事実やデータ（数値）に裏付けられた理由を「根拠（こんきょ）」と言います。

定まった１つの正解はありません。あなたの考えが論理的、つまり、うまくつながっていればＯＫです。

序論（はじめに）を書く（→後から書く）

「序論(はじめに)」には、全体のテーマ、動機、自分のテーマを書きます。

【見本】

全体のテーマ

私は、世界的に有名で日本人が尊敬する音楽家の一人に挙げられるベートーヴェンを調べることにした。

動機

教科書に掲載されている彼は気難しそうで、幸福な人の顔には見えない。にもかかわらず、彼の作る音楽は美しい。このギャップに興味を持った。

自分のテーマ

彼はどんな人生を送ったのか、本当はどんな人だったのか知りたい。第２章は独自のトピックを選んだ。そして「なぜベートーヴェンは甥のカールを溺愛したのか」をテーマとした。このテーマを通して、音楽家としてのベートーヴェンではなく、一人の人間としての面を調べていきたい。

結論（おわりに）を書く（→先に書く）

「序論（はじめに）」で書いたことに対しての、自分なりの答えを「結論（おわりに）」に書きます。一貫性を保つこと。

このレポート全体を通しての結論

ベートーヴェンは、激しい性格で、暗くて、悲劇的な　人で、作曲の鬼というイメージがあった。しかし、身に降りかかった不幸を乗り越える強さと明るさを持った人物だとわかった。

「序論/自分のテーマ」に対しての自分の答え

第２章の「なぜベートーヴェンは甥のカールを溺愛したのか」というテーマを通して、彼が愛情に飢えていて、人を愛することにあこがれた人間だったことを知った。私の中でベートーヴェンが作曲家から感情ある一人の人間になった。

この部分は、本来のレポートでは不要。
今回は本格的なレポートを初めて書いて感じたことを書いてください。

苦労して集めた情報を選別して捨てる作業がつらくて難しかった。次回のレポートでは、情報の選別をしっかりとした上で、自分の考えをまとめてから書き始めたい。

「序論」に対応した「結論」を書くこと。

（おことわり：2009 年度及び 2014 年度の先輩が書いた「はじめに」「おわりに」をベースに、遊佐が見本用に加筆修正しました。）

参考文献リストを作成する

調べるために使った資料（本も Web も）は、ここにメモしておきましょう。

著者(編者)名	書　　名	出版社(発行所)	出版年

HPの制作者	HPのタイトル名	アドレス(URL)	HPを見た日
		http: //	
		http: //	
		http: //	
		http: //	

参考文献リストの書き方

➢ 書き方を覚えてしまいましょう。

●著者や編者がわかっている場合（著者や編者がない場合は、著者名を省いて書く。）

著者名(編者名)『書名』　出版社名　出版年

（例）　ﾊﾟﾑ･ﾌﾞﾗｳﾝ著『ベートーベン』(伝記世界の作曲家④)　偕成社　1998 年

「株式会社」は不要

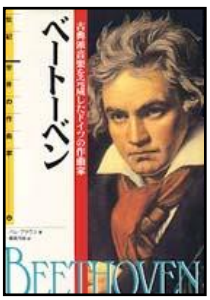
● Web サイトの場合　　制作者、タイトル名、ＵＲＬ、アクセス日を記入する。

（例）　総務省統計局「統計データ・ポータルサイト」

http://portal.stat.go.jp/　(2019 年 10 月 1 日)

制作者が分からないサイトは、参考文献に値しない。

【奥付(おくづけ)の例】



伝記　世界の作曲家④　ベートーベン　　書名

発　行　1998 年 4 月　1 刷　　出版年

著　者　パム・ブラウン　　著者

訳　者　橘高弓枝

発行者　今村正樹

発行所　(株)偕成社　　出版社（発行所）

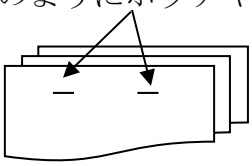
印　刷　大日本印刷(株)

製　本　大日本製本(株)

提出前のチェックリスト

✔	チェック項目
	無駄な空白、無駄な改行、していませんか？
	★、♪など、無意味な記号を使っていませんか？
	色は使っていませんか？
	常体（～だ。～である。）で書かれていますか？
	ページ番号は書いてありますか？（「目次」が１ページめです。）
	抜けているページはありませんか？順番も確認してください。
	２か所、しっかりとじてありますか？
	序論（はじめに）に対応した結論（おわりに）を書いていますか。
	参考文献の書き方は、正しいですか。

このようにホッチキス２か所留め



《このワークブック作成にあたり、参考にした資料》

著 者 名	書　　名	出 版 社（発行所）	出版年
石井一成	『ゼロからわかる大学生のためのレポート･論文の書き方』	ナツメ社	2011 年
泉忠司	『論文＆レポートの書き方』	青春出版社	2009 年
桑田てるみ編	『中学生・高校生のための探究学習スキルワーク』	全国学校図書館協議会	2012 年
宅間紘一	『はじめての論文作成術』	日中出版	2003 年
戸田山和久	『論文の教室』	日本放送出版協会	2002 年
遊佐幸枝	『学校図書館発　育てます!調べる力・考える力』	少年写真新聞社	2011 年

東京純心女子中学校音楽科+東京純心女子中学校図書館・作成